

答 申

学力向上推進委員会に諮問された事項は、
「教育委員会と学校が同じ方向を向いて取り組むことができる、新たな学力向上推進プランの策定について」であった。諮問の理由としては、

- ・現在の学力向上推進プランでは、学力向上の目標数値が総体で表されているため、具体的な成果や課題が見えづらいこと
- ・学力向上に向けて教育委員会と学校が同じ方向を向いて取り組んでいくことが必要であること
- ・学力向上については、中期的なスパンで考えてほしいこと

大きくは以上のようにまとめることができる。

つまり、学校の取組の成果が見届けられ、学校と教育委員会とが共に取り組むことのできる目標指標の設定をお願いしたいということであった。

そこで、本委員会では、この諮問を受け、まず、目標指標の設定についての考え方を次の3点で整理をした。

1 同じ母集団の経年変化について見取る視点での指標

同じ母集団の経年変化を追うことは、個々の児童生徒に対する指導の改善・充実を図るとともに、子どもたちの成長が見えるものとなり、学校の取組の成果についても明らかになる。

2 学力の分布をみていく視点での指標

学力の分布に視点を当て、学力の差異に着目して改善を図ることで、個々の児童生徒に対する指導の改善・充実を図るとともに、学級集団の学力を上げることもなる。

3 横須賀市教育委員会における「重点2 認め合い高め合う関係を築く力を育てる」を中心とした取組に対しての指標

質問紙調査に着目することで、教育環境や学習に対する意欲や関心・態度ということに関して意味づけることができるとともに、学力を幅広くとらえているというメッセージも示すことになる。

次に、より客観的な数値として、どのような調査結果を用いるかということに関してだが、以下に示す資料を用いることとした。

1 全国学力・学習状況調査

全国学力・学習状況調査は、全ての教育委員会・学校・児童生徒を対象に、毎年度

実施していることから、推計値を用いることなく、調査としての信頼性を確保することができる。

2 横須賀市立小・中学校学習状況調査

全国学力・学習状況調査に比べ、実施する学年の幅が広く（小学校3年生から中学校3年生）、横須賀市の児童生徒の実態により即した内容となっている。

3 横須賀市学力・体力・生活意識調査の専門的分析

横須賀市の児童生徒の体力と学力との相関分析により、より横須賀市の児童生徒の実態を示したものである。

全国学力・学習状況調査結果を教育委員会が行う他の調査と組み合わせることで、新たな知見を導くことができることが期待される。

そうした前提に立ち、学力向上推進プランの全体構想図及び目標、目標指標を別紙2のように定めた。